

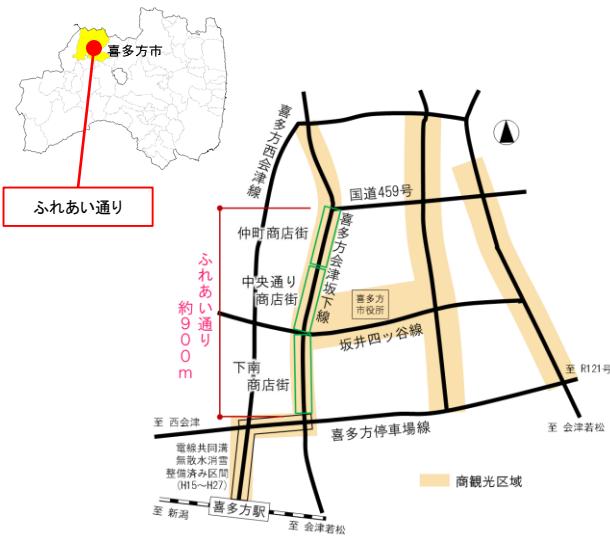
地域と協働し
官民一丸となった
まちづくりを推進

主要地方道喜多方会津坂下線「ふれあい通り」整備計画 ～「おあいなんしょ」で、もてなす心意気～

ふれあい通り

- ・主要地方道喜多方会津坂下線のうち、喜多方市中心市街地の約900m区間の愛称
- ・北から順に「仲町」「中央通り」「下南」の3つの商店街で構成されている
- ・「蔵のまち喜多方」と呼ばれるように、大小100余りの蔵が立ち並ぶ、商業・観光の中心地
- ・「レトロ横丁」「夏まつり」「小荒井初市」など年間を通して多くのイベントが開催される

「おあいなんしょ」
…会津地方の方言で「お上がりなさい」
「いらっしやいませ」といった挨拶言葉



- 整備前の課題
- ・アーケードの老朽化
 - ・電柱の乱立
 - ・(降雪時)自動車による水跳ねの多発

- 課題を解消
- ・アーケードの撤去
 - ・電線の地中化
 - ・無散水消雪の整備



地域と協働



歩道の段差がなくなるといいね

アーケードがないところは雪が積もって通りにくい



休憩できるベンチがあるといいね



H24～「蔵庭」(ポケットパーク)の整備(県)

H20～H30(予定) 電線共同溝及び無散水消雪施設の整備(県)

H20～H22 アーケードの撤去、照明及びファサード※の整備(商店街)

※(道路等に面した) 建物の正面部分

H18～H22 景観協定の締結(商店街)

H18～H19 ふれあい通り整備計画の策定(県、市、商店街)

H17 ワークショップの開催(県、市、商店街)

・形態
・素材・色彩
・看板 など } 町並み全体と調和したものとする

